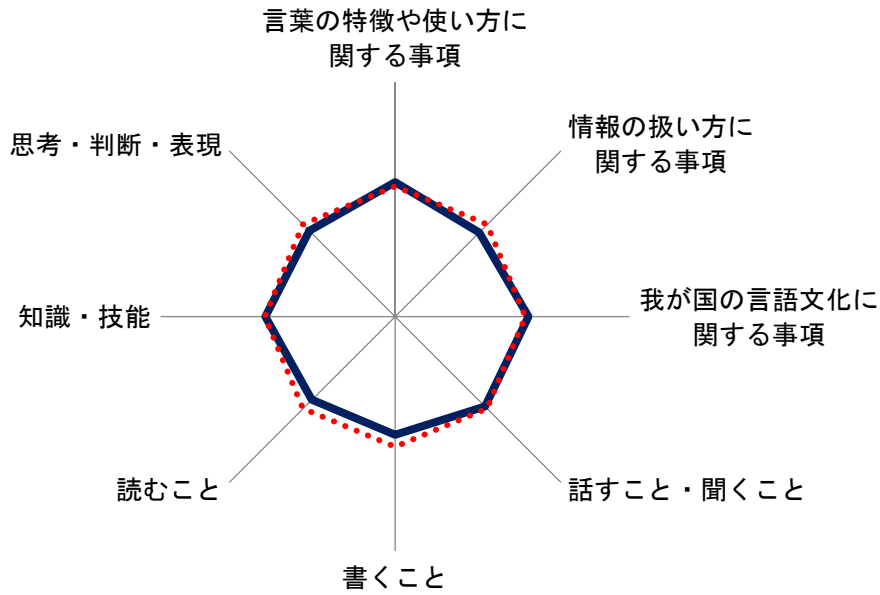


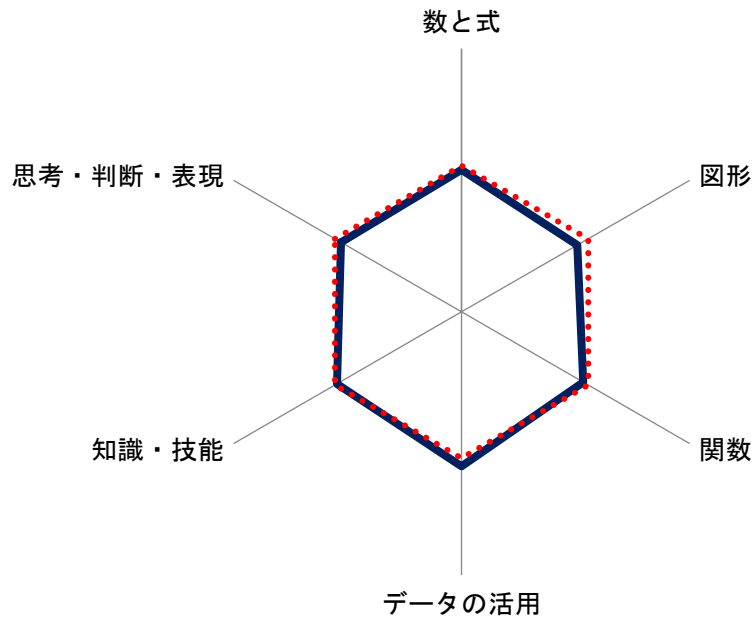
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

— 県平均
..... 全国平均

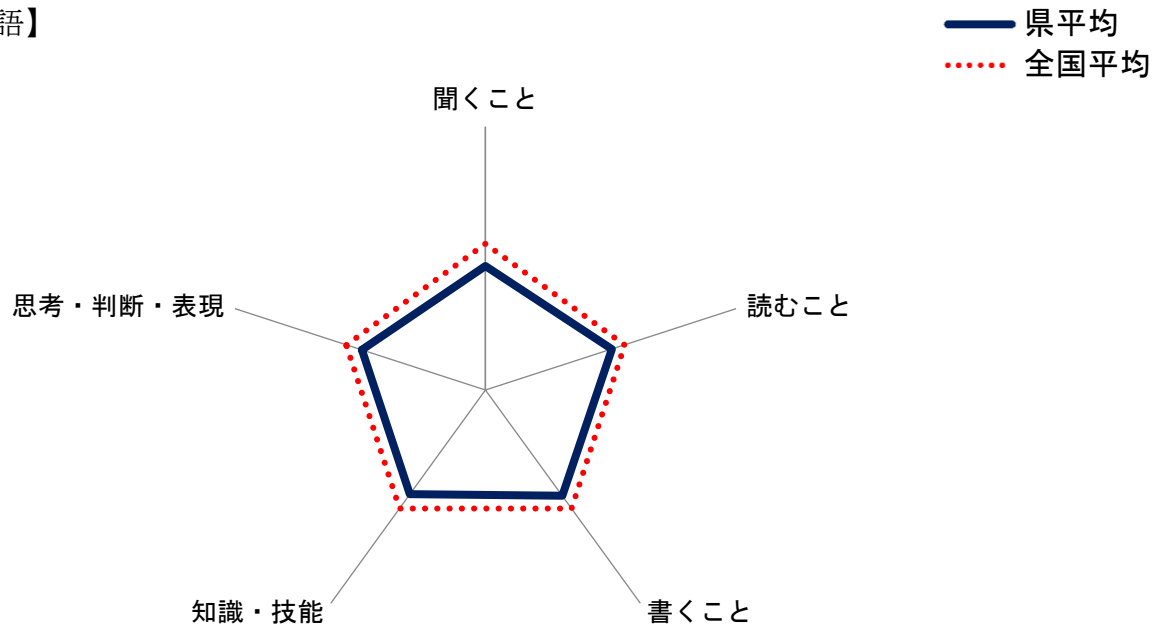


【数学】

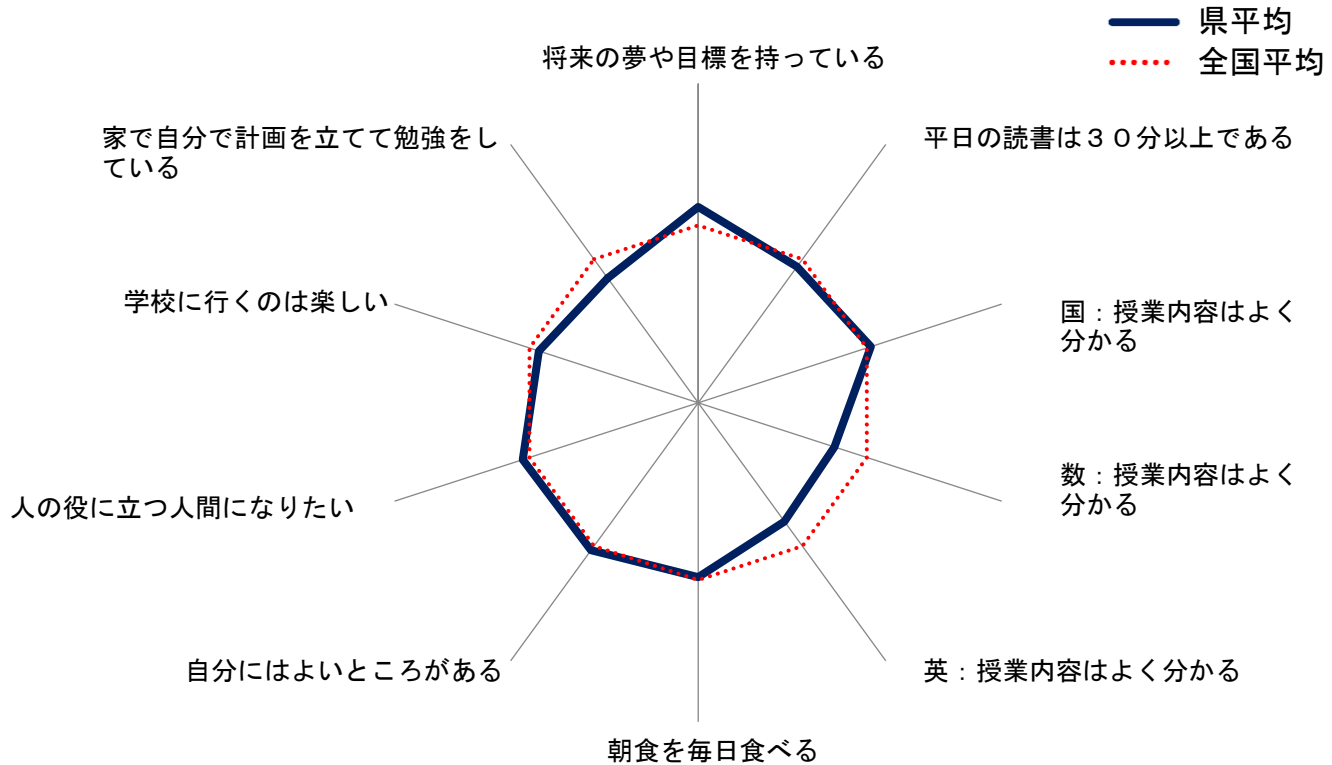


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【英語】



○ 生徒質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語の「言葉の特徴や使い方に関する事項」などの項目が全国平均とほぼ同じであるが、「知識・技能」「思考・判断・表現」の項目が3教科ともに全国平均を下回っている。また、国語の「書くこと」「読むこと」、数学の「図形」、英語の全ての項目で全国平均を下回っており、基礎的な知識及び技能の定着と読解力に課題が見られる。今後は、資質・能力の育成に資する授業改善に視点を当て、これまで培われてきた愛媛教育のよさと適切なICTによる教育のベストミックスを図るとともに、読書習慣の定着や英語力の向上など、本県の学びの課題克服に引き続き取り組むことで、更なる学校教育の質の保証・向上を目指していく必要がある。

生徒質問紙調査では、「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたい」「自分にはよいところがある」の項目が前回調査に引き続き全国平均を上回っており、継続してキャリア教育の充実に注力してきた成果であると考えられる。一方、数学と英語の「授業内容はよく分かる」、「家で自分で計画を立てて勉強をしている」の項目が前回調査に引き続き全国平均を下回っている。今後も、生徒にとって「分かる、できる」を実感できる授業になるよう、目標と指導と評価の一体化を図った授業改善とともに、家庭学習の習慣化を、県・市町・学校が一体となって取り組んでいく必要がある。